

平成23年度 管内若手教員研修指導教員部会開催！

6月14日(火)に、本教育事務所において「若手教員研修指導教員部会」を開催しました。若手教員研修は、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることを目的として、採用1年次の初任者と2年次、3年次の教員に対して研修を実施するもので、これまでの初任者研修に変わって、今年度新たにスタートした研修です。

今年度は実施初年度に当たり、初任者のみの研修になりました。当日は、指導教員の先生方74人が参加し活発な意見交換がなされ、有意義な一日となりました。

初任者の中には講師経験のある方も多いのですが、新採となると初めて経験することもあり、悩みも出てくるようです。経験年数が高いベテランの先生でも、転任で職場が変わると、慣れるまでに多くのエネルギーを使いますから、初任者はなおさらです。

そこで、指導教員の先生方に次のような話をしました。

3年前に放映されたNHKドラマ『フルスイング』の主人公のモデルとなった、伝説の打撃コーチ 高島 導宏 氏の言葉に、「コーチの仕事は教えん事、それがワシの信念でした。無理やり教えても選手の迷惑じゃ。選手が苦しんで、悩んで、高さん指導してください、と言うて来るまで待つ。大きな耳、小さな口、優しい目で待つんですわ。」というのがあります。

指導教員の先生方には、この「大きな耳、小さな口、優しい目」をもって指導に当たっていただきたいと思います。そして、もう一つ加えるならば、先生方自らの姿、姿勢をもって指導をお願いします。



協議の様子

部会では、グループごとの話し合いを2回行いました。1回目は、学校をまわる拠点校指導教員と、単独校指導教員・校内指導教員のグループに分かれて、研修実施にかかわる様々な問題について話し合いました。先生方には、指導上の問題点や悩みばかりでなく、持ち寄った資料をもとに解決策や工夫、うまくいった事例なども挙げていただきました。

2回目は、拠点校指導教員がまわる学校グループごとと、単独校指導教員のグループで、情報交換を行いました。震災の影響で、年度当初の説明会ができませんでしたので、今回は、効果的な研修方法を探ったり学校間の連携を深めたりする貴重な場となりました。

若い先生方は、日本の将来を担う有為な人材を育てる教員であり、わたしたちが通ってきた道を歩んでくれる後輩ですから、一日も早く学校の戦力となって活躍できるように、指導教員の先生方ばかりでなく、学校をあげて大切に育てていきたいものです。

Q ; 若手教員研修の2年次、3年次に行われる「OJT研修」とは？

A ; 実際の仕事を通じて行う人材育成のための研修で、On the Job Trainingの略です。職場内で上司・先輩が、日常の仕事を通じて、部下に必要な知識・技能・仕事への取り組み等を教育するものです。職場内訓練とも言います。

長所は、勤務時間内に行うことができ、費用がかからないこと。また、業務に即した内容を指導できることなどです。短所は、指導者が技能不足だと成果が上がらないこと。また、業務が忙しいと研修時間がなくなることなどです。

研修のポイントは、意図的・計画的・継続的に行うことです。